

## 宮崎大学医学部附属病院ボランティア活動心得

職員一同、心から歓迎し、ボランティア活動をしてくださることに感謝いたします。  
患者さんの通院及び入院生活を豊かなものにするために、あなたは大きな貢献をしてくださることになります。

宮崎大学医学部附属病院としても、ボランティアの皆様と手を携えて患者サービスの向上に努力していきたいと思えます。

活動内容についてわからないことなどがありましたら、どうぞ遠慮なく質問や提案をしてくださるようお願いいたします。

なお、活動に当たりましては、次のことをお守りくださるよう併せてお願いいたします。

### 活動にあたってのお願い

- 1 自分の引き受けた活動に責任を持ちましょう。
- 2 活動の約束をした日時は守り、やむを得ず休む時は、事前に担当職員に連絡しましょう。
- 3 活動を辞退する場合は、担当職員に連絡し、辞退届の提出をしてください。
- 4 活動には担当する部署の方針に従い、職員から受けたお願いや注意事項は守りましょう。
- 5 病院内では、思想的、宗教的、政治的活動は一切行わないようにしましょう。
- 6 個人情報保護の観点から、患者さんの名前や病状などのプライバシーに関することは、絶対に漏らしてはいけません。

### 活動上の心得

- 1 「あいさつ」は人間関係の潤滑油です。あいさつを励行しましょう。
- 2 患者さんに対しては、相手を思いやる温かい心を持って、明るく笑顔で話しかけるよう心がけましょう。
- 3 患者さんと平等に接し、特別に親しい患者さんをつくらないようにしましょう。
- 4 患者さんから症状、診断についてたずねられた時は、担当医師に相談するよう勧めましょう。
- 5 患者さんの容態について必要以上のことをたずねたり、診断、治療などに意見を挟まないようにしましょう。
- 6 医師が処方した薬以外の薬や、品物などを患者さんに勧めたりしないようにしましょう。
- 7 患者さん（またはその家族）に贈り物をしたり、患者さんから贈り物を貰ったりしないようにしましょう。
- 8 大声でしゃべったり、笑ったりするのは控えましょう。
- 9 わからないことがありましたら、担当職員におたずねください。

## 服装

- 1 清潔で活動しやすい服装を心がけてください。
- 2 病院が貸与するボランティア用エプロンを着用してください。
- 3 本院の発行する名札及び委嘱状を必ず携帯してください。
- 4 靴は、なるべくかかとの低い音のしないものを履きましょう。
- 5 爪は短く、お化粧品や香水、アクセサリ、マニキュアは控え目にしましょう。

## 健康管理

- 1 活動の前後には、手洗い、うがいを励行し、自分自身の健康に充分気をつけてください。
- 2 活動中にケガをしたり、気分が悪くなったときは無理をせず、担当職員に申し出てください。
- 3 インフルエンザなどの感染症と診断された場合や、下記のような感染症を疑わせる症状がある場合には、活動をお控えください。

### 感染症を疑わせる症状の代表例

- ・発熱
- ・嘔吐・下痢など胃腸炎を疑わせる症例
- ・咳、咽頭痛などインフルエンザを疑わせる症例
- ・発疹など風疹やはしか等を疑わせる症例
- ・目の充血、眼やに、眼の痛みなど結膜炎症状
- ・そのほか感染症を疑う自覚症状

担当係 : 医事課患者サービス係  
連絡先 : 0985-85-9774